



やまとのふみくら

天理図書館

開館91周年

記念展

書

物

の

歴

史

和漢書の  
"かたち"  
を視る

an overview of  
their various bound  
formats including  
shapes, types, sizes,  
and materials.

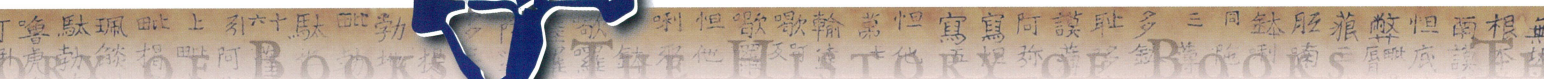
THE HISTORY OF BOOKS

|        |   |
|--------|---|
| 開館時間   | 9時30分～16時30分（入館は16時まで）  |
| 休館日    | 11月2日（火）・9日（火）  |
| 入館料    | 大人500円・団体400円（20名以上）<br>小中高生300円（学校単位の団体は無料・事前申し込みが必要）<br>障がい者とその介護者1名は無料となります<br>受付カウンターに障がい者手帳またはマイロIDなどを提示ください |
| 主催     | 天理大学附属天理図書館   |
| 後援     | 奈良県・天理市・天理市教育委員会  |
| 協力     | 天理大学附属天理参考館   |
| 問い合わせ先 | 天理大学附属天理図書館 奈良県天理市杣之内町1050<br>TEL 074316319200  |

会場 天理参考館 3階企画展示室

令和3年 2021 10.20(水) ▶ 11.15(月)

\*会期中、一部展示品の入れ替えがあります





# 天理図書館開館91周年記念展

開館91周年記念展として「書物の歴史—和漢書の「かたち」を視る—」を開催いたします。

これまでの開館記念展をふりかえると、今回と同じようなテーマを掲げたのは、東京の天理ギャラリーでの「本の歴史」展(1967年)で、ほぼ半世紀ぶりとなります。前は3ヶ月間の会期で、洋の東西を問わず広く本の歴史を捉えるものでした。それ以後は、「日本の古活字本」展(1977年)、「日本の古版本」展(1981年)、「日本の古文書」展(1983年)、「日本の古記録」展(1987年)、「日本の古辞書」展(1996年)、「近世の文化と活字本」展(2003年)など、わが国の図書資料が持つ特徴をテーマ別に展示してきました。

今回はタイトルを「書物の歴史」としましたが、地域は東アジア、主に日本に限定し、形態・種類・大きさの視点から概観します。形態では「巻く」本から「綴じる」本へ、「のり付け」本から「糸綴じ」本へと至る変遷をたどります。また、さまざまな種類の大きさや装訂に仕立てられた本もご覧いただけます。他にも、紙以外の素材として、パピルスやパーチメント(羊皮紙)なども展示します。

## 書物の歴史

### THE HISTORY OF BOOKS

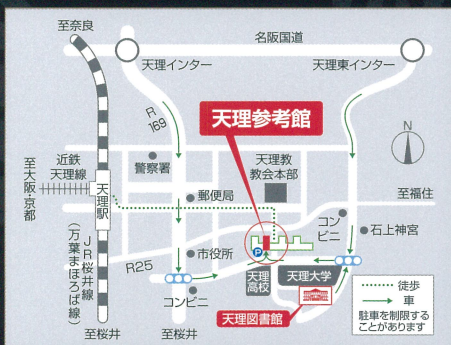
an overview of their various bound formats including shapes, types, sizes, and materials.

まじりかどる (きりしたん版)  
寛政4年刊

本朝古今銘尽 (私版)  
寛政7年刊

平柳御 (私版)  
天保12年刊

綴り書 (私版)  
天保12年刊



展示会場 | 天理参考館 3階企画展示室

〒632-8540 奈良県天理市守目堂町 250

JR・近鉄天理駅下車 徒歩 約20分  
西名阪天理インターより 南へ 約3km

会場の天理参考館には P 駐車場あり・無料

\* 期間により駐車場への入場・駐車が規制される場合があります

\* 新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のため、会期やイベント内容を変更する場合がございます。最新の情報は、天理図書館のホームページ・Twitter公式アカウントでご確認ください。



開館記念展 @tcl\_since1930

書物の歴史展

